

Radio Link

使い方ガイド

ネットラジオを聴く・録音する・歌詞を文字にする・歌手を知る
すべてを1つのアプリで

Android版 Ver.1.3.0 対応 ／ creator7

目次

1. アプリでできること
2. はじめに（インストールと画面構成）
3. 放送局を探して聴く
4. 再生中の画面と曲・歌手情報（出力先の切り替え）
5. 録音する
6. 録音ライブラリと歌詞の文字起こし（録音の保護と共有）
7. 設定（文字起こしエンジンの準備）
8. 困ったときは（Q&A）
9. ご利用上の注意と仕様

1 アプリでできること

Radio Linkは、世界中のインターネットラジオを受信し、流れた曲の情報を自動で調べ、録音した曲の歌声を文字に起こせるアプリです。



📻 受信・再生

日本／全世界の局を名前やジャンルで検索。お気に入り登録、URLでの局追加、画面を消してもバックグラウンドで再生できます。Bluetooth・Wi-Fiスピーカーでも聴けます。

🎤 曲・歌手情報

放送局が送る曲名を自動受信し、アルバム・発売日・ジャケット、歌手の種別・出身・活動期間・プロフィールを表示します。

● 録音

音質を落とさず、Radio Link専用の暗号化形式（.rlk）で保存。曲が変わるたびに別ファイルに分かれます。他のプレイヤーでは再生できません。

📝 歌詞の文字起こし

スマホの中のWhisper（音声認識AI）で歌声を文字にします。音声を外部に送らず、オフラインでも動作。クラウドAPIも選べます。

2 はじめに

動作環境

OS	Android 8.0 以降（推奨 Android 12 以降）
通信	インターネット接続が必要（Wi-Fi推奨。ラジオ再生で1時間あたり約30〜60MB）
文字起こし	端末内Whisper：モデルの初回ダウンロード（31MB〜547MB）と空き容量。メモリ4GB以上の端末推奨 クラウドAPI：音声認識APIのキー、または自前の音声認識サーバー（→7章）

初回起動

1. ホーム画面の **Radio Link** アイコン（ホーム画面の表示名は「Radio Link」）をタップします。
2. 「通知の送信を許可しますか？」と表示されたら **許可** を選びます。
   再生中・録音中の操作パネルを通知に表示するために使います。許可しなくても再生はできますが、通知から停止できなくなります。
3. 「放送局」タブが開き、日本の人気局が一覧表示されます。

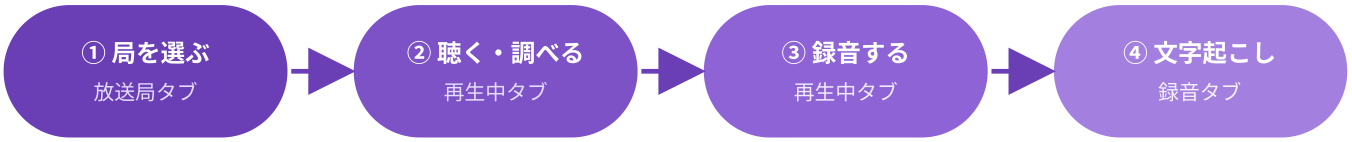
画面の構成

画面下のナビゲーションバーで4つのタブを切り替えます。



図2-1　ナビゲーションバーと各タブの役割

基本の流れ



3 放送局を探して聴く

「放送局」タブでは、世界のネットラジオ局データベース（Radio Browser）から局を検索できます。

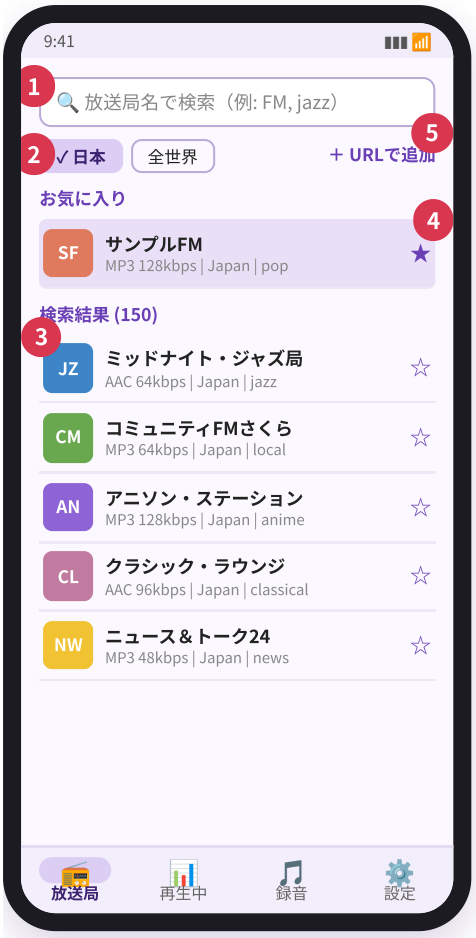


図3-1　放送局タブ（画面はイメージです）

1 検索欄
局名やジャンル（例：jazz、anime、news）を入力し、キーボードの検索キーで検索します。空欄のまま検索すると人気順の一覧になります。

2 地域の切り替え
「日本」は日本の局だけ、「全世界」は全ての国の局を検索します。切り替えるとすぐに再検索されます。

3 局をタップして再生
タップすると再生が始まり、自動で「再生中」タブに移動します。行の下段は「形式・音質｜国｜ジャンル」です。

4 お気に入り（☆／★）
☆をタップすると★になり、一覧の一番上「お気に入り」に固定されます。再生中の局は色付きで表示されます。

5 URLで追加
データベースに無い局も、配信URLが分かれば登録できます（次項）。

URLで局を追加する

1. 右上の **＋ URLで追加** をタップします。
2. **局名**（任意）と **ストリームURL** を入力します。例：https://example.com/stream.mp3　（mp3 / aac / m3u8 形式）
3. **追加** をタップすると「お気に入り」に登録されます。

> **ヒント**　コミュニティFMの公式サイトなどに「ネット配信URL」「Listen」「.m3u / .pls」などのリンクが掲載されていることがあります。.pls/.m3u ファイルの場合は、中に書かれている http で始まるURLを入力してください。

> **注意**　radiko など、DRM（著作権保護）付きの配信サービスには対応していません。

4 再生中の画面と曲・歌手情報



図4-1　再生中タブ（曲名・歌手名は架空の例です）

1 ジャケット・曲名・歌手名
放送局から曲名を受信すると自動で表示されます。ジャケットが見つからない場合は局のロゴが出ます。

2 再生／停止ボタン
■で停止、▶で同じ局を再生し直します。アプリを閉じても再生は続き、通知からも操作できます。

3 録音ボタン
押すと録音開始、赤い「録音停止」で終了します（→5章）。

4 曲・アーティスト情報
アルバム名・発売日・ジャンル、歌手の種別（個人／グループ）・出身・活動期間・ジャンルタグ・プロフィールを表示。プロフィール文はタップで全文表示。「Apple Musicで見る」「Wikipedia」「MusicBrainz」ボタンで詳細ページを開けます。

5 オンエア履歴
受信した曲名を時刻付きで最大300件保存。タップするとその曲の情報を表示します。「再生中の曲に戻る」で現在の曲に戻ります。

曲・歌手情報が表示される仕組み

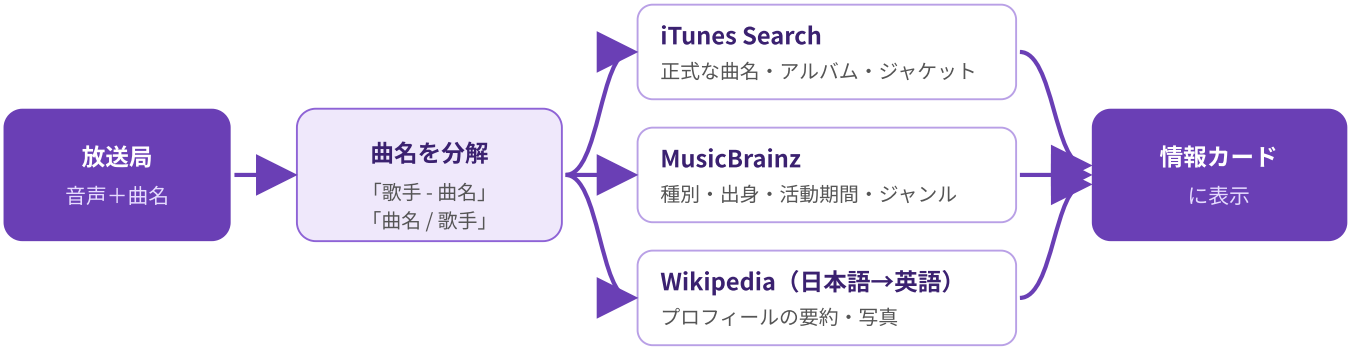


図4-2　曲名を受信してから情報が表示されるまで（いずれもAPIキー不要）

ポイント　曲名を送信しない局（トーク番組中心の局など）では、曲・歌手情報は表示されません。曲名が「曲名 / 歌手」以外の独自形式の場合、検索結果が合わないことがあります。

4-2　出力先の切り替え（Bluetooth・Wi-Fiスピーカー）

「再生中」タブの再生ボタンの下にある **出力先：〇〇** ボタンをタップすると、音を出す機器を選べます。



図4-3　出力先の選択画面（機器名は例です）

1　この端末・Bluetooth

「自動」なら、Bluetoothスピーカーやイヤホンをつなぐと自動でそちらから鳴ります。接続中の機器を個別に選ぶこともできます（Bluetoothをつないだまま本体スピーカーで鳴らす、など）。

2　Bluetooth機器を接続

スマホのBluetooth設定が開き、新しい機器をペアリングできます。Android 14以降は「システムの出力切替」も使えます。

3　Chromecast / Google Cast

Google Nest、Chromecast、Cast対応のスピーカー・テレビ。同じWi-Fi内の機器が自動で表示されます。

4　DLNA / UPnP

多くのWi-Fiスピーカー・AVアンプ・スマートテレビ。一覧を開くと約3秒で探します。🔄で再検索。

5　接続中の表示

Wi-Fiスピーカーにつないでいる間は、音量スライダーと「接続を終了してこの端末で聴く」が表示されます。局を変えるとスピーカー側も自動で切り替わります。

6　録音の再生

流出防止のため、録音（.rlk）はWi-Fiスピーカーには送れません。再生すると自動でこの端末に戻ります。

Bluetoothスピーカー・イヤホンで聴く

1. 初めての機器は、出力先画面の **Bluetooth機器を接続** からスマホとペアリングします（機器側をペアリングモードにしてください）。
2. 接続されると、出力先が「自動」のままなら **そのまま Bluetooth から音が出ます**。
3. 出力先ボタンの表示が機器名（例：「出力先：BT Speaker Mini」）に変わったことを確認します。

Wi-Fiスピーカー（Google Cast / DLNA）で聴く

1. スピーカーの電源を入れ、**スマホと同じWi-Fi** に接続されていることを確認します。
2. 「放送局」タブで局を選んで再生します（Wi-Fiスピーカーへは再生中の局を送ります）。
3. 「再生中」タブの **出力先** ボタン → 一覧からスピーカーをタップします。
4. 数秒でスピーカーから音が出ます。音量はスライダーで調整できます。戻すときは **接続を終了してこの端末で聴く**。

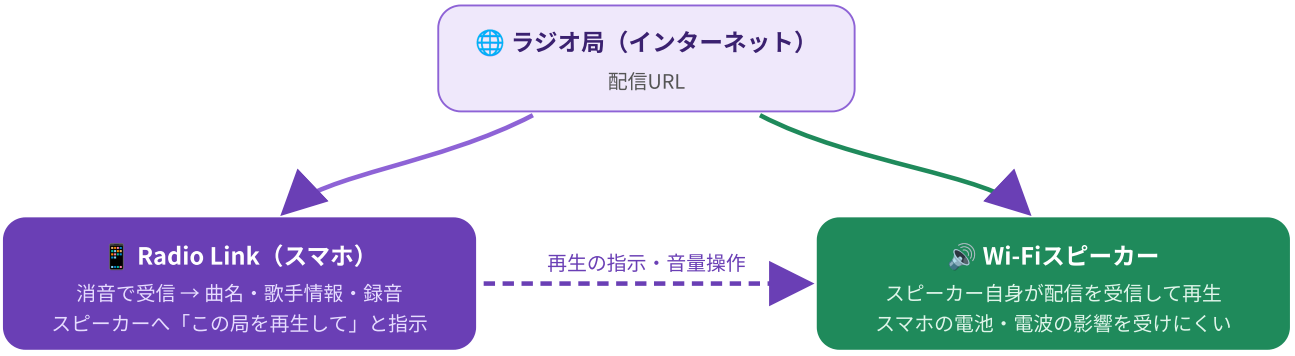


図4-4　Wi-Fiスピーカーで聴くときの仕組み

出力先	向いている使い方	ご注意
Bluetooth	持ち運び用スピーカー、イヤホン、車のオーディオ	スマホとの距離は10m程度まで
Google Cast	Google Nest、Chromecast、Cast対応スピーカー・テレビ	Google Play 開発者サービスが必要
DLNA / UPnP	Wi-Fiスピーカー、AVアンプ、スマートテレビ	https・HLS形式の配信に非対応の機器あり

ご注意　Wi-Fiスピーカーで聴いている間も、曲名・歌手情報の表示と録音のため、スマホは音を消して受信を続けます（その分の通信量がかかります）。AirPlay専用の機器（HomePodなど）には対応していません。Bluetooth対応の機種ならBluetoothでお聴きください。

5 録音する

放送の音声を、音質を落とさず（再エンコードせず）Radio Link専用の暗号化形式（.rlk）で保存します。アプリを閉じても録音は続きます。

録音の手順

1. 「放送局」タブで局を選んで再生します。
2. 「再生中」タブの ● **録音** をタップします。
3. 録音中は赤いカードに **経過時間・ファイルサイズ・現在の曲名** が表示され、通知欄にも「録音中」と出ます。
4. 終了するときは赤い **録音停止** ボタン、または通知の **録音停止** をタップします。
5. 保存されたファイルは「録音」タブに一覧表示されます。



図5-1　左：アプリ内の録音状態表示　右：通知欄の表示

「曲ごとに分割」のしくみ

設定で **曲ごとにファイルを分割** がON（初期設定）の場合、放送局から新しい曲名が届くたびに録音ファイルが切り替わります。

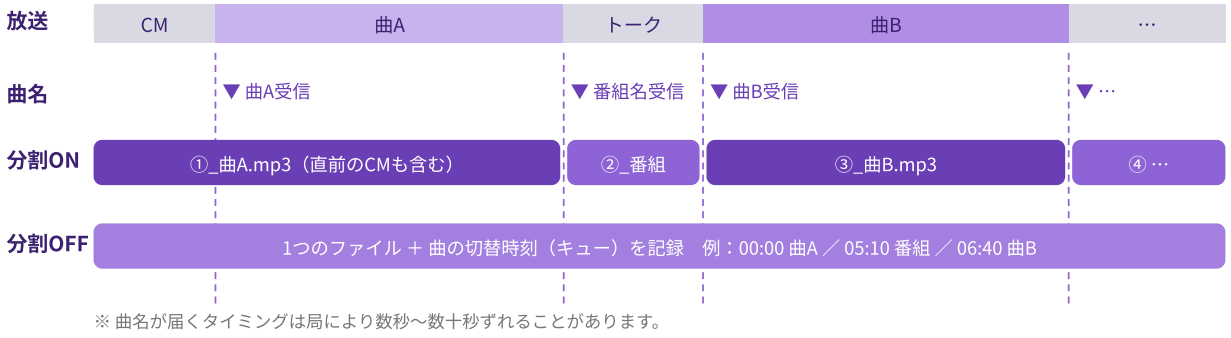


図5-2　曲ごと分割ON/OFFで保存されるファイルの違い

保存形式	Radio Link専用の暗号化形式 **.rlk**（中身は局の配信形式 MP3 / AAC / OGG のまま）。ファイル名は「日時_曲名.rlk」
ファイルサイズ目安	128kbps の局で 1分 約1MB、1時間 約56MB
録音できない局	HLS（.m3u8）形式の局は再生のみ対応。録音ボタンを押すとメッセージが表示されます
ヒント	文字起こしは1ファイル25MBまで。曲単位で文字起こしする場合は「分割ON」のまま録音してください

6 録音ライブラリと歌詞の文字起こし



図6-1　録音タブ（画面はイメージです）

1 録音カード
タイトル（曲名）、局名、録音日時、サイズ、形式（例：RLK・MP3）を表示。分割OFFで録音したファイルには曲の切替時刻の一覧も表示されます。

2 再生（▶）
録音をアプリ内で再生し、「再生中」タブで曲・歌手情報も確認できます。

3 歌詞を文字起こし
設定で選んだエンジン（端末内Whisper／クラウドAPI）で歌声をテキスト化します。処理中は進み具合（%）と「中止」ボタンが表示され、複数の曲は順番待ちで1曲ずつ処理されます。完了済みなら「再文字起こし」でやり直せます。

4 文字起こし結果
端末内Whisperでは［分:秒］テキスト の形で、曲のどのあたりの歌声かが分かります。長押しで範囲選択、⧉で全文コピー。結果は録音と同じ名前の .txt で保存されます。

5 共有（↗）・削除（🗑）
共有すると .rlk のまま送られます（→6-2）。削除は確認後、音声と文字起こしの両方を消します。

6 取り込む
他の人から受け取った .rlk ファイルを選んで取り込みます（→6-2）。

文字起こしの流れ



図6-2　文字起こしの2つの経路（上：端末内Whisper／下：クラウドAPI）

所要時間の目安	端末内Whisper（Smallモデル）：4分の曲で約1〜3分（端末の性能による） クラウドAPI：4分の曲で約10〜40秒（回線速度・混雑状況による）
精度について	歌声は伴奏やDJのトークと重なるため誤りが出やすくなります。聞き取りの補助としてお使いください。

6-2　録音の保護と共有（Radio Link専用形式 .rlk）

著作権のある放送の録音が外部に広まらないよう、Radio Link の録音はすべて **専用の暗号化形式（拡張子 .rlk）** で保存されます。共有しても一般の音楽プレイヤーやパソコンでは再生できず、**Radio Link に取り込んだときだけ** 再生できます。

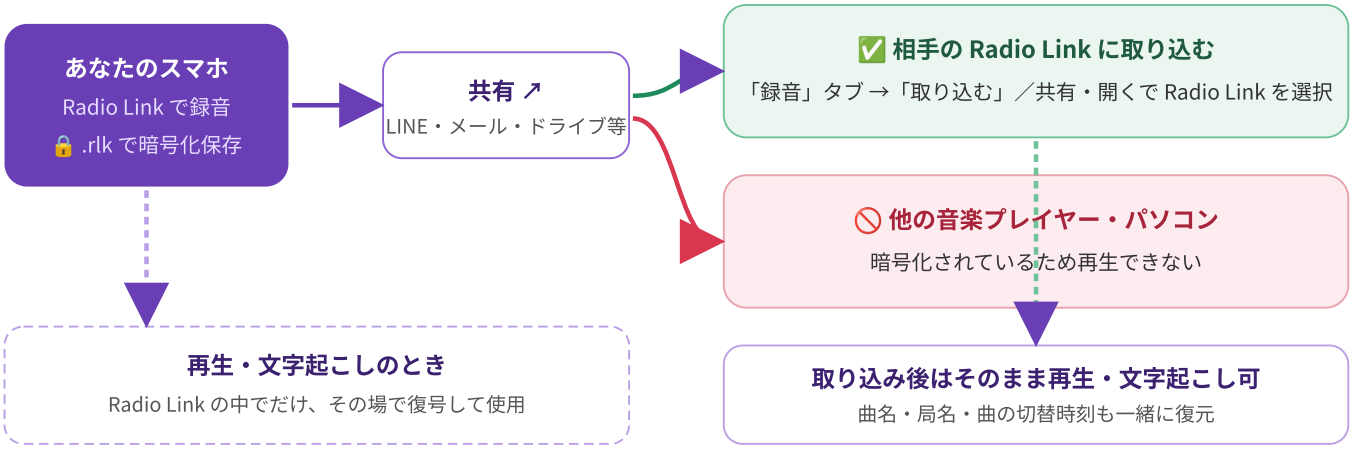


図6-3　.rlk ファイルの共有と再生の可否

録音を共有する

1. 「録音」タブで共有したい録音の **↗（共有）** をタップします。
2. LINE・メール・Googleドライブなど、送り先のアプリを選びます。ファイルは **.rlk のまま** 送られます。
3. 受け取った人にも Radio Link をインストールしてもらい、次の手順で取り込んでもらいます。

受け取った録音を取り込む

1. **方法1：**「録音」タブ右上の **取り込む** をタップし、保存した .rlk ファイルを選びます。
2. **方法2：**LINEやファイルアプリで .rlk ファイルを開く／共有するときに **Radio Link** を選びます。
3. 「録音を取り込みました」と表示され、録音一覧に追加されます。曲名・局名・曲の切替時刻も復元されます。

安心ポイント　取り込めるのは Radio Link で作られた正規の .rlk ファイルだけです。途中で書き換えられたファイルや、他のアプリで作られたファイルは自動的に拒否されます。同じ録音を二重に取り込むこともありません。

これまでの録音について

Ver.1.1.0 以前に MP3 / AAC / OGG で保存された録音は、Ver.1.2.0 に更新後の最初の起動時に **自動で .rlk に変換** されます（「これまでの録音 ○件を Radio Link 専用形式に変換しました」と表示）。文字起こし結果やメタ情報はそのまま引き継がれます。

ご注意　.rlk は録音を気軽に再生・拡散できないようにするための仕組みです。暗号化されていても、録音の公開・配布が許されるわけではありません。受け渡しは家族や友人など私的な範囲にとどめてください。

7 設定（文字起こしエンジンの準備）

歌詞の文字起こしには、スマホの中で動く **端末内Whisper** と、インターネット経由の **クラウドAPI** の2種類があります。初期設定は端末内Whisperです。再生・録音・曲情報の表示だけなら準備は不要です。



図7-1　設定タブ（端末内Whisper選択時）

1 文字起こしエンジン
タップするとすぐ切り替わります。クラウドAPIを選ぶと、下の欄がAPIキー等の入力欄に変わります（→7-2）。

2 言語コード
日本語の曲は ja、英語の曲は en。空欄で自動判定（日英混在の曲向き）。両エンジン共通です。

3 モデル一覧
「ダウンロード」で端末に保存（✔印）。保存済みのモデルは ◉ をタップして使用するモデルに選びます。「削除」で容量を空けられます。

4 ダウンロード中
進み具合が%で表示され、「中止」で止められます。完了するまでアプリを開いたままにしてください。

5 ファイルから取り込む
パソコン等で用意したモデルファイルを読み込みます（次ページ）。

6 CPUスレッド数
通常は空欄（自動）でOK。端末が熱くなる場合は 2〜3 に減らします。

7 保存
言語コード・スレッド数・分割設定を変えたらタップします。

どちらを選べばよい？

	端末内Whisper	クラウドAPI
料金	無料	従量課金（OpenAIの場合）
通信	不要（モデルの初回ダウンロードのみ）	毎回必要（録音ファイルを送信）
プライバシー	音声が端末の外に出ない	音声をサービス事業者に送信
速さ・精度	端末の性能とモデルによる	高速・高精度
ファイル上限	なし（5分ごとに分けて処理）	1ファイル25MBまで

7-1　端末内Whisperの準備（おすすめ・無料）

1. 「設定」タブで **端末内Whisper（完全ローカル）** が選ばれていることを確認します。
2. モデル一覧から **Small（おすすめ）** の **ダウンロード** をタップします（約181MB。Wi-Fi推奨、数分かかります）。
3. 完了すると「以後は通信なしで文字起こしできます」と表示され、✔印が付いて自動で選択されます。
4. 「録音」タブで **歌詞を文字起こし** をタップすれば、機内モードでも文字起こしできます。

モデル	サイズ	速さ	精度	向いている端末・用途
Tiny	約31MB	★★★★★	★☆☆☆☆	動作確認用
Base	約57MB	★★★★☆	★★☆☆☆	古い端末・メモリ3GB程度
Small（おすすめ）	約181MB	★★★☆☆	★★★☆☆	ほとんどの端末。速度と精度のバランスが良い
Medium	約514MB	★★☆☆☆	★★★★☆	メモリ4GB以上。時間がかかっても精度重視
Large v3 Turbo	約547MB	★★☆☆☆	★★★★★	メモリ6GB以上の高性能端末

※ 文字起こし中は画面を消しても処理が続き、通知に進み具合が出ます（通知の「中止」で停止）。電池を多く使うため充電しながらの実行がおすすめです。

スマホで一度も通信せずに準備する方法

1. パソコンのブラウザで **huggingface.co/ggerganov/whisper.cpp** を開き、「Files」から `ggml-small-q5_1.bin` などのモデルファイルをダウンロードします。
2. USBケーブルやSDカードで、スマホの「Download」フォルダなどにコピーします。
3. 「設定」タブ ⑤ **ファイルからモデルを取り込む** をタップし、コピーした .bin ファイルを選びます。
4. 取り込みが終わると自動で選択されます。以後、録音ファイルも結果も **スマホの外に一切送信されません**。

7-2　クラウドAPIを使う場合

エンジンで **クラウドAPI（OpenAI互換）** を選ぶと、**APIキー・エンドポイントURL・モデル** の入力欄が表示されます。入力後に「保存」をタップしてください。

OpenAIを使う	① **platform.openai.com** でアカウント作成 → ②「Billing」でクレジット追加（従量課金）→ ③「API keys」→ **Create new secret key** でキー（sk-…）を作成 → ④ APIキー欄に貼り付けて保存。モデルは `whisper-1`（標準）または `gpt-4o-transcribe`（高精度）。 ※ APIキーは他人に教えないでください。料金・手順は公式サイトで最新情報をご確認ください。
自前サーバーを使う	同じWi-Fi内のPCでOpenAI互換サーバーを動かす場合、エンドポイントに `http://192.168.1.10:8000/v1/audio/transcriptions` のようにパソコンのIPアドレスとポートを入力。APIキーは不要なら空欄でOK。

8 困ったときは（Q&A）

症状	原因と対処
局をタップしても音が出ない／「再生エラー」と出る	局の配信が停止・移転している可能性があります。別の局を試してください。モバイル通信の電波が弱い場合はWi-Fiに切り替えてください。
「接続中…」のまま進まない	回線が混雑しているか、局のサーバーが応答していません。■で停止してから再度タップしてください。
放送局の一覧が出ない／「検索に失敗しました」	インターネット接続を確認してください。一時的にデータベースが混雑していることもあるため、少し待って再検索してください。
曲名が表示されない	その局が曲名を送信していません（トーク中心の局に多い）。曲名が出ない局では曲情報・自動分割も働きません。
曲・歌手情報が違う人になる	同名の歌手・曲がある場合や、曲名の書式が独自の場合に起こります。オンエア履歴から別の曲を選び直すと再検索されます。
録音ボタンが押せない／「録音に対応していません」	先に局を再生してください。HLS（.m3u8）形式の局は録音できません。
録音が勝手に止まった	局の配信が途切れると「ストリームが終了したため録音を停止しました」と表示されます。それまでの部分は保存されています。
Bluetoothスピーカーから音が出ない	スマホのBluetooth設定で機器が「接続済み」か確認し、出力先を「自動」または機器名に合わせてください。一度切断して再接続すると直ることがあります。
Wi-Fiスピーカーが一覧に出ない	スピーカーの電源と、スマホと同じWi-Fi（ゲスト用ではないネットワーク）につながっているか確認し、🔄で再検索してください。ルーターの「プライバシーセパレーター／AP分離」がONだと見つかりません。
Wi-Fiスピーカーで「再生できませんでした」	機器が局の配信形式（https・HLS）に対応していない可能性があります。別の局を試すか、Bluetoothでお聴きください。
アプリを閉じると再生・録音が止まる	端末の省電力設定でアプリが停止されています。「設定 → アプリ → Radio Link（Radio Link） → バッテリー」で **制限なし** にしてください。
「モデルをダウンロードしてください」と表示される	端末内Whisperのモデルが未保存か、選択中のモデルが削除されています。設定タブでモデルをダウンロード（または取り込み）してください（→7-1）。
「この端末では端末内Whisperを利用できません」	対応していないCPUの端末です。設定タブでクラウドAPIに切り替えてください。
「モデルを読み込めませんでした」	メモリ不足か、ファイルが壊れています。他のアプリを閉じる、ひとつ小さいモデル（Medium→Small など）に変える、モデルを削除して再ダウンロードする、をお試しください。

端末内Whisperの処理が遅い／端末が熱くなる	Small や Base などの小さいモデルに変更してください。発熱が気になる場合はCPUスレッド数を 2〜3 にし、充電しながら涼しい場所で実行してください。
モデルのダウンロードが途中で失敗する	Wi-Fiに接続し、ダウンロードが終わるまでアプリを開いたままにしてください。空き容量（モデルサイズ＋α）も確認してください。
文字起こしで「APIキーを入力してください」	設定タブでAPIキーを入力し、保存をタップしてください（→7章）。
文字起こしで「API 401」	APIキーが間違っているか無効です。キーを作り直して貼り付けてください。
文字起こしで「API 429」	利用上限または残高不足です。OpenAIの管理画面で残高・上限を確認してください。
「ファイルが25MBを超えています」	クラウドAPIでは長時間の一括録音は送れません。端末内Whisperに切り替えるか、「曲ごとに分割」をONにして録音し直してください。
文字起こし結果が意味不明な文になる	伴奏が大きい曲やトークの多い部分では精度が落ちます。言語コードを曲の言語に合わせる、端末内WhisperではMedium以上のモデルにする、クラウドAPIでは gpt-4o-transcribe にする、などをお試しください。
録音ファイルをパソコンに移したい／パソコンで再生できない	録音は Radio Link 専用の暗号化形式（.rlk）のため、パソコンや他のプレイヤーでは再生できません（流出防止のための仕様です）。バックアップとして保存することはできます。再生するときは Radio Link に取り込んでください。
「Radio Link の録音ファイル(.rlk)ではありません」	選んだファイルが .rlk ではありません。送り主に Radio Link の共有ボタン（↗）から送り直してもらってください。
「録音ファイルが壊れているか、正規の Radio Link ファイルではありません」	送信途中でファイルが壊れたか、書き換えられています。もう一度送ってもらってください。
「新しいバージョンの Radio Link で作成されたファイルです」	アプリを最新版に更新してから取り込んでください。

9 ご利用上の注意と仕様

著作権について

・放送される楽曲・番組には著作権があります。録音ファイルと文字起こしした歌詞は、**ご自身で楽しむ私的利用の範囲**でお使いください。SNS・動画サイト・ブログなどでの公開や他人への配布は著作権法で制限されています。

・各放送局の利用規約で録音を禁止している場合は、その規約に従ってください。

通信量・料金について

ラジオ再生・録音はデータ通信を使います。128kbpsの局で1時間あたり約56MBです。モバイル通信の場合は契約中のデータ容量にご注意ください。端末内Whisperでの文字起こしは無料で、通信も使いません（モデルの初回ダウンロード時のみ31MB〜547MB）。クラウドAPI（OpenAI）を使った文字起こしは、ご自身のアカウントに従量課金されます。

プライバシーについて

本アプリはユーザー登録不要で、個人情報を収集しません。お気に入り・履歴・APIキーは端末内にのみ保存されます。外部に送信されるのは、局の検索語（Radio Browser）、曲名・歌手名（iTunes / MusicBrainz / Wikipedia）、クラウドAPIで文字起こしする場合の録音ファイル（設定した音声認識サービス）だけです。**端末内Whisperを使う場合、録音ファイルと文字起こし結果は端末の外に送信されません。**

仕様一覧

対応OS	Android 8.0（API 26）以降
再生形式	MP3 / AAC / HE-AAC / OGG / Opus / HLS（m3u8）
録音形式	Radio Link専用形式 .rlk（AES-256で暗号化。中身はMP3 / AAC / OGG）。HLSは録音不可
データ提供	局：Radio Browser ／ 曲名：ICYメタデータ ／ 曲・歌手：iTunes Search API、MusicBrainz、Wikipedia
文字起こし	端末内：whisper.cpp v1.9.4（モデル Tiny〜Large v3 Turbo、時刻付き出力） クラウド：OpenAI互換 音声認識API（1ファイル25MBまで）
出力先	端末スピーカー／有線・USB／Bluetooth（LE Audio含む）／Google Cast／DLNA・UPnP
非対応	スマホ内蔵FM/AMチューナー、radiko等のDRM付き配信、AirPlay
オープンソース	whisper.cpp（MIT License）、Whisperモデル（OpenAI・MIT License）

Radio Link

開発・提供：creator7

お問い合わせ：creator7.jp@gmail.com

https://creator7.jp